

EVAR 施行時に大口径 Leg を使用した症例における腸骨動脈の経時的な変化について

1. 研究の対象

当院において2013年1月から2023年5月までに行われた腹部大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術 (EVAR) による手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

腹部大動脈瘤に対する血管内治療として EVAR があります。腹部大動脈瘤には 10-20% に腸骨動脈瘤が合併することが知られています。拡張傾向にある腸骨動脈には口径の大きいステントグラフトの Leg を用いて治療を行います。大口径の Leg を使用した症例において術後の腸骨動脈の径の経時的な変化と、追加の治療介入が必要になったか否かについて検討することを目的としています。

Leg : 左右の腸骨動脈に挿入するデバイスのことを指します。完成形はメインボディーと左右の Leg2 本を用いて逆 Y 字になり、腹部大動脈瘤をカバーします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 手術時の年齢、性別、内服薬、手術前後の CT データ、EVAR に使用されたデバイス情報、術後の再手術の有無、再手術の内容等

4. 利益相反

当該研究に関わる者全員に利益相反はありません

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〈照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先〉

心臓病センター榊原病院

住所 : 岡山市北区中井町 2-5-1 電話 : 086-225-7111

研究責任者 : 心臓血管外科 吉鷹秀範

担当者 : 心臓血管外科 池田諒